資料１－２

【　事業者用　】

八幡市ごみに関するアンケート調査ご協力のお願い

日ごろより、市政にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

さて、本市では、ごみの減量・資源化や適正なごみ処理を進めるため、平成２９年度に平成３０年度から令和８年度までを計画期間とする「第３次八幡市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。

計画目標年度が令和８年度であることから、これまでのごみ処理に関する評価を行うとともに、今後の施策を検討し、計画を改定する必要があります。

そこで、事業者のみなさまを対象とした、ごみの減量・資源化などに対するアンケートを実施し、計画策定の参考とさせていただくことといたしました。

お忙しいところお手数をおかけしますが、アンケートの趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和８年１月　八幡市長　川田　翔子

○　調査対象

市内に事業所をもつ事業者２００社を無作為に抽出しました。

○　記入にあたってのお願い

１　アンケートへのご記入は、本社・本店等ではなく、本調査票が届いた事業所・店舗等でご回答ください。なお、住所・店舗名などの回答は必要ありません。
２　設問をお読みになり、該当するものを選択してください。
３　設問には、回答が一つのもの、複数回答のものがございますので、ご注意ください。
４　「その他」の場合は、お手数ですが、その内容をご記入ください。
５　**このアンケートは、事業所名や住所を記入していただく必要はありませんので**、率直なお考えをお答えください。

○　個人情報の取扱いについて

このアンケートは、回答者の個人情報が特定されることはありません。
また、回答はすべて統計的に処理し、個々の回答が公表されることはありません。

○　所要時間

約10～15分程度となっております。

○　回答方法

次のどちらかの方法で回答してください。

1　インターネットによる回答

インターネットでアンケートの回答ができます。

令和8年1月31日（土）までに、スマートフォンなどで右の二次元コードを読み込むか、パソコンなどで次のアドレスにアクセスしてください。

2　書面による回答

書面による回答を希望される方は、下記担当課（八幡市市民生活部環境業務課）までご連絡いただきましたら、調査票と返信用封筒を送付させていただきます。

アンケート用紙に回答をご記入いただき、令和8年1月31日（土）までに、返信用封筒に入れて、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

◎　ご不明点等ございましたら、下記までお問合せください。

【担当窓口】
八幡市　市民生活部　環境業務課
〒614－8501　京都府八幡市八幡園内75
TEL：075－983－5340（直通）
FAX：075－983－1603
Email：gyomu@mb.city.yawata.kyoto.jp

【アンケート設問（例）】

問1. あなたの事業所における事業系ごみの減量の取り組みは、どのような状況ですか。
当てはまるものを1つだけお選びください。

1. 積極的に取り組んでおり、現状で十分である
2. 積極的に取り組んでいるが、まだ不十分である
3. あまり積極的ではなく、不十分である
4. 全く取り組んでいない

問2. 問1で1又は2とお答えした方にお聞きします。
ごみの減量に取り組む理由はなんですか。（○は3つまで）

1. ごみ処理経費削減のため　　2. 環境に良いため
3. 社会的責任を果たすため　　4. 会社のイメージアップのため
5. 法律で定められているため　　6. 会社全体で規定されているため
7. その他（具体的に：　　）

Ⅰ．あなたの事業所のことについてお聞きします。

問1.　あなたの事業所はどの業種に該当しますか。（○は1つ）

1. 建設業	2. 製造業
3. 電気・ガス・熱供給・水道業	4. 情報通信業
5. 運輸業、郵便業	6. 卸売業、小売業
7. 金融業、保険業	8. 不動産業、物品賃貸業
9. 学術研究、専門・技術サービス業	10. 宿泊業、飲食サービス業
11. 生活関連サービス業、娯楽業	12. 教育、学習支援業
13. 医療、福祉	14. その他（　　）

問2.　あなたの事業所の形態はどれに当てはまりますか。（○は1つ）

1. 事務所	2. 商業施設・店舗
3. 工場、作業所	4. 病院、医療機関、福祉施設
5. 教育施設	6. その他（　　）

問3.　店舗・事務所等の所有形態はどれに当てはまりますか。（○は1つ）

1. 店舗、事務所が独立した建物である
2. テナント利用の店舗・事務所である
3. 住居と併設した店舗・事務所である

問4.　従業員は何人ですか。（非正規従業員を含む）（○は1つ）

1. 1～4 人	2. 5～9 人	3. 10～19 人
4. 20～29 人	5. 30～49 人	6. 50～99 人
7. 100 人以上		

問5.　あなたの事業所の所在地をお答えください。（○は1つ）

1. 八幡地区	2. 橋本地区	3. 川口地区	4. 岩田地区
5. 野尻地区	6. 上津屋地区	7. 上奈良地区	8. 下奈良地区
9. 内里地区	10. 戸津地区	11. 美濃山地区	12. 男山地区
13. 西山地区	14. 欽明台地区		

Ⅱ．ごみと資源物の分別・排出状況についてお聞きします。

問1.　あなたの事業所では、事業系ごみを産業廃棄物と一般廃棄物に分別していますか。（○は1つ）

※回答者は特定されないので、現状をそのまま、回答してください。

1. 分別している
2. 分別せず、全て一般廃棄物として排出している
3. 分別せず、全て産業廃棄物として排出している
4. 分け方が分からない

問2.　家庭から発生する「家庭系ごみ」以外は、全て「事業系ごみ」です。事務所や店舗などとの併用住宅の場合もそれぞれに分けることが必要です。あなたの事業所では事業系ごみと家庭系ごみを分けていますか。（○は1つ）

※回答者は特定されないので、現状をそのまま、回答してください。

1. きちんと分けている
2. 時々、分けている
3. 分けずに、家庭系ごみとして排出している
4. 分けずに、事業系ごみとして排出している
5. 分けることを意識したことがない

事業所等から出るごみは、ごみステーションに出すことができず、持ち込みか事業系一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託となります。
以下、あなたの事業所の事業系ごみの排出状況についてお聞きします。

問3.　あなたの事業所の事業系ごみ（**燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ**）の排出状況についてお聞きします。

(1)　1 週間に排出する量を、45リットルのごみ袋に換算して、おおよその個数でお答えください。（○はそれぞれ1つ）

燃やすごみ	1. 1 週間で 1 袋未満	2. 1 週間で 1～2 袋程度
	3. 1 週間で 3～5 袋程度	4. 1 週間で 6 袋以上
	5. 全く出ない	6. 分からない
燃やさないごみ	1. 1 週間で 1 袋未満	2. 1 週間で 1～2 袋程度
	3. 1 週間で 3～5 袋程度	4. 1 週間で 6 袋以上
	5. 全く出ない	6. 分からない
粗大ごみ	1. 1 週間で 1 袋未満	2. 1 週間で 1～2 袋程度
	3. 1 週間で 3～5 袋程度	4. 1 週間で 6 袋以上
	5. 全く出ない	6. 分からない

(2) それぞれをどのように排出し、処理していますか。下記の選択肢より、お選びください。（○はそれぞれ1つ）

燃やすごみ	排出方法	1. 自社で、市の施設へ搬入している
		2. 事業系一般廃棄物収集運搬許可業者に委託している
		3. その他（　　）
		4. 分からない
	処理方法	1. 一般廃棄物処理施設
		2. 処理費を払って処理業者に委託している
		3. 社内、グループ内で自ら処理している
		4. その他（　　）
		5. 分からない
燃やさないごみ	排出方法	1. 自社で、市の施設へ搬入している
		2. ごみ収集運搬業者に委託している
		3. その他（　　）
		4. 分からない
	処理方法	1. 一般廃棄物処理施設
		2. 処理費を払って処理業者に委託している
		3. 社内、グループ内で自ら処理している
		4. その他（　　）
		5. 分からない
粗大ごみ	排出方法	1. 自社で、市の施設へ搬入している
		2. ごみ収集運搬業者に委託している
		3. その他（　　）
		4. 分からない
	処理方法	1. 一般廃棄物処理施設
		2. 処理費を払って処理業者に委託している
		3. 社内、グループ内で自ら処理している
		4. その他（　　）
		5. 分からない

問4. あなたの事業所の事業系ごみ（資源物）の排出状況についてお聞きします。

(1) 1週間に排出する量を、45リットルのごみ袋に換算して、おおよその個数でお答えください。（○は1つ）

資源物	1. 1週間で1袋未満	2. 1週間で1～2袋程度
	3. 1週間で3～5袋程度	4. 1週間で6袋以上
	5. 全く出ない	6. 分からない

(2) どのように排出し、処理していますか。下記の選択肢より、お選びください。（○はそれぞれ1つ）

資源物	排出方法	1. 事業系一般廃棄物収集運搬許可業者に委託している
		2. 資源回収業者に委託している
		3. 産業廃棄物処理業者に委託している
		4. その他（　　）
		5. 分からない
	処理方法	1. 処理費を払って処理業者に委託している
		2. 社内、グループ内で自ら処理している
		3. その他（　　）
		4. 分からない

問5. **燃やすごみ**あるいは**燃やさないごみ**の排出を事業系一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託している事業者にお聞きします。現在の委託契約の内容は、ごみ量の増減が、委託費に反映される仕組みになっていますか。（○は1つ）

1. ごみ量が増減すれば、そのまま委託費に反映される
（例：袋の容量や個数による重量計算）
2. ごみ量が増減しても、委託費には反映されない
（例：車両の種類や収集回数で契約している）
3. その他（具体的に　　）

問6. この1年間で、あなたの事業所が出したごみの量は減りましたか。当てはまるものを<u>1つだけ</u>お選びください。

1. 1年前より増えた　2. あまり変わらない　3. 1年前より減った
4. わからない

問7. 問6で「1. 1年前より増えた」または「2. あまり変わらない」と回答された事業所にお聞きします。その理由を<u>すべて</u>お選びください。

1. ごみの減量化や資源化に取り組んでいないから
2. 事業所の規模や従業員数が大幅に増加したから
3. 仕事量が大幅に増えたから
4. その他（　　）

問8. 問6で「3. 1年前より減った」と回答された事業所にお聞きします。その理由を<u>すべて</u>お選びください。

1. ごみの減量化や資源化に取り組んでいるから
2. 事業所の規模や従業員数が大幅に減少したから
3. 在宅勤務の導入等、働き方が変わったから
4. その他（　　）

Ⅲ．ごみの減量化への取り組みについてお聞きします。

本市では、ごみを減らし、限りある資源を大切にして、環境にやさしい社会をつくっていくための重要な取り組みの一部として、「事業系ごみの３R（スリーアール）」を推進しています。

①Reduce（発生抑制、リデュース）	：普段の生活の中で、余分なごみを出さない
②Reuse（再利用、リユース）	：物を大切に扱い、繰り返し利用する
③Recycle（再資源化、リサイクル）	：資源として再生利用する

このようにしてできるだけごみを減らし、資源を循環させることで、資源の枯渇や環境破壊を食い止め、限りある資源を未来へ残していきます。

問1.　あなたの事業所における事業系ごみの減量の取り組みは、どのような状況ですか。当てはまるものを<u>1つだけ</u>お選びください。

1. 積極的に取り組んでおり、現状で十分である
2. 積極的に取り組んでいるが、まだ不十分である
3. あまり積極的ではなく、不十分である
4. 全く取り組んでいない

問2.　問1で「1. 積極的に取り組んでおり、現状で十分である」又は「2. 積極的に取り組んでいるが、まだ不十分である」とお答えした方にお聞きします。ごみの減量に取り組む理由はなんですか。（○は３つまで）

1. ごみ処理経費削減のため	2. 環境に良いため
3. 社会的責任を果たすため	4. 会社のイメージアップのため
5. 法律で定められているため	6. 会社全体で規定されているため
7. その他（具体的に：　　）	

問3.　あなたの事業所では、以下の取り組みを実施していますか。それぞれの項目で、当てはまるものを1つだけお選びください。（該当しない項目は無回答で結構です）

ごみ減量、社内啓発等の取り組み	実施している	予定や計画がある	将来的に検討したい	実施の予定はない
ごみ減量の取り組み				
1. 割り箸や使い捨てカップ・容器等の使い捨て製品を使わないようにしている	1	2	3	4
2. 会議や事業等で出す飲み物にペットボトルやびん・缶のものを使わない	1	2	3	4
3. マイボトルの持参を社員に周知している	1	2	3	4
4. 簡易包装を実施している	1	2	3	4
5. 裏紙の利用（コピー用紙削減）を行っている	1	2	3	4
6. 書類管理等を電子化し、ペーパーレス化を行っている	1	2	3	4
7. 繰り返し使用できる製品や、グリーン購入対象品目を使用または生産、販売している	1	2	3	4
8. 修理や修繕を積極的に行っている	1	2	3	4
9. 適正な在庫管理を心がけている	1	2	3	4
10. ごみの減量化計画を作成している	1	2	3	4
社内啓発等の取り組み				
11. 事業所の３Rの取組を積極的にPRしている	1	2	3	4
12. ごみ処理やリサイクルの担当者を配置している	1	2	3	4
13. 社員に対して、環境教育を行っている	1	2	3	4
14. その他（具体的に：　　）				

食品の提供（製造、販売、飲食店、社員食堂等を含む）を行っている事業所の方にお聞きします。

問4. 以下の食品ロス対策の取組を実施していますか。それぞれの項目で、当てはまるものを1つだけお選びください。（該当しない事業所は無回答で結構です）

食品ロス対策の取り組み	実施している	予定や計画がある	将来的に検討したい	実施の予定はない
1. 京都府フードシェアリングサービスを利用している	1	2	3	4
2. 小盛りや小分けメニューを採用している	1	2	3	4
3. 小容量販売やばら売りを実施している	1	2	3	4
4. 宴会等の際は幹事と量やメニューの調整をしている	1	2	3	4
5. 食べ残しを持ち帰れるよう容器を用意している	1	2	3	4
6. 余った食材は、賄いで使い切っている	1	2	3	4
7. 食材が余らないよう、メニューを調整している	1	2	3	4
8. 生ごみ廃棄前の水切りを徹底している	1	2	3	4
9. 自社内に生ごみ処理機を設置している	1	2	3	4
10. フードバンクを活用している	1	2	3	4
11. 賞味期限が近いものは値引き販売等を行っている	1	2	3	4
12. 商品の「てまえどり」を掲示物等で呼びかけている	1	2	3	4
13. その他（具体的に：　　）				

Ⅳ．資源物の排出についてお聞きします。

問1.　あなたの事業所における事業系ごみの資源化への取り組み状況について、当てはまるものを1つだけお選びください。

1. 積極的に取り組んでおり、現状で十分である
2. 積極的に取り組んでいるが、まだ不十分である
3. あまり積極的ではなく、不十分である
4. 全く取り組んでいない

問2.　あなたの事業所では、古紙類の資源化にどの程度取り組んでいますか。（○は1つ）

1. 積極的に取り組んでいる
2. ある程度取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. ほとんど取り組んでいない
5. 全く取り組んでいない

問3.　あなたの事業所では、古紙類の資源化に関する次の取り組みを行っていますか。それぞれの項目で、当てはまるものを1つだけお選びください。（該当しない項目は無回答で結構です）

古紙類の資源化の取り組み	実施している	予定や計画がある	将来的に検討したい	実施の予定はない
1. 資源物の分別を徹底している	1	2	3	4
2. 分別ボックス、店頭回収ボックス等を設置している	1	2	3	4
3. シュレッダーごみの資源化	1	2	3	4
4. 資源ごみのリサイクルルートを確保している	1	2	3	4
5. その他（具体的に：　　）				

問4.　あなたの事業所では、飲料用のびん・缶の資源化にどの程度取り組んでいますか。（○は1つ）

1. 積極的に取り組んでいる
2. ある程度取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. ほとんど取り組んでいない
5. 全く取り組んでいない

問5.　あなたの事業所では、飲料用のびん・缶の資源化に関する次の取り組みを行っていますか。それぞれの項目で、当てはまるものを1つだけお選びください。
（該当しない項目は無回答で結構です）

飲料用のびん・缶の資源化の取り組み	実施している	予定や計画がある	将来的に検討したい	実施の予定はない
1. 資源物の分別を徹底している	1	2	3	4
2. 分別ボックス、店頭回収ボックス等を設置している	1	2	3	4
3. 資源ごみのリサイクルルートを確保している	1	2	3	4
4. その他（具体的に：　　）				

問6.　あなたの事業所では、ペットボトルの資源化にどの程度取り組んでいますか。
（○は1つ）

1. 積極的に取り組んでいる	2. ある程度取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない	4. ほとんど取り組んでいない
5. 全く取り組んでいない（具体的に：　　）	

問7.　あなたの事業所では、ペットボトルの資源化に関する次の取り組みを行っていますか。それぞれの項目で、当てはまるものを1つだけお選びください。
（該当しない項目は無回答で結構です）

ペットボトルの資源化の取り組み	実施している	予定や計画がある	将来的に検討したい	実施の予定はない
1. 資源物の分別を徹底している	1	2	3	4
2. 分別ボックス、店頭回収ボックス等を設置している	1	2	3	4
3. 資源ごみのリサイクルルートを確保している	1	2	3	4
4. その他（具体的に：　　）				

問8.　今後、資源化に取り組みたいと考えている資源はどれですか。
（○はいくつでも）

1. 雑誌	2. 紙パック	3. 雑がみ
4. 段ボール	5. 新聞紙	6. ＯＡ用紙
7. シュレッダー紙	8. 飲食用の缶	9. 金属類
10. 飲食用のびん	11. ガラス類	12. ペットボトル
13. プラスチック製容器包装	14. 製品プラスチック	15. 布類
16. 生ごみ	17. 紙おむつ	18. ゴム・皮革類
19. その他（具体的に：　　）		

Ⅴ．ごみ減量・資源化についてお聞きします。

問1.　あなたの事業所で、ごみ減量や資源化を進めていくうえで主な問題点は何ですか。（○は３つまで）

1. ごみの減量や資源化を行う意義が分からない
2. 経済的なメリットがない
3. 分別や排出方法のルールが分からない
4. どの業者に依頼すれば良いか分からない
5. ごみ処理や資源化について質問や相談する窓口が分からない
6. 従業員にごみの減量や資源化の意識を浸透させることが難しい
7. 分別して保管する場所がない
8. 分別に手間がかかる
9. 資源化にかかる費用が高い
10. 機密文書が多く、資源化が難しい
11. 食品の売れ残り等を減らすための販売管理が難しい
12. 本社（本店）に決定権があり、資源化に関して指示に従うしかない
13. 特にない
14. その他（具体的に：　　）

問2.　あなたの事業所で、ごみの減量や資源化に関して知りたい情報は何ですか。（○は３つまで）

1. ごみの出し方や分別方法
2. 事業所でできる減量化・資源化の方法
3. 他の事業者と共同実施できるごみの減量化・リサイクル方法
4. ごみ処理業者や資源化を行う業者
5. 資源物を無償又は買い取ってくれる業者
6. ごみの問題に関する講演会等の開催情報
7. 他の事業所での取組事例
8. 行政が行っているごみの減量に関しての情報
9. 特にない
10. その他（具体的に：　　）

問3.　ごみの減量や資源化など、ごみに関する知識や情報は、主にどのようなものから得ていますか。（○は３つまで）

1. 市のウェブサイト
2. 訪問調査、立入検査時等の直接指導
3. 許可業者や関係団体からの情報提供
4. 講演会、セミナー等
5. 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネットなど
6. 家族、友人、知人
7. 情報を得る手段がない
8. その他（具体的に：　　）

問4.　ごみの減量や資源化を推進するにあたり、市に期待することは何ですか。（○は３つまで）

1. 施設整備に対する補助金等の支援
2. 業種別の減量方法等を示したマニュアルの作成・配布
3. ごみ処理業者や資源化を行う業者等についての情報提供
4. 他の事業所で行われているごみの減量や資源化の先進的事例の紹介
5. 事業者が協働して資源化に取り組むオフィス町内会等の組織の育成
6. 事業者と行政の意見交換の場の提供
7. 業者間での情報交換や取組の意見交換ができる場の提供
8. 事業者に対する指導や監視体制の強化
9. 特にない
10. その他（具体的に：　　）

問5.　ごみの減量・資源化への取り組みに関して、市へご意見等がありましたらご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
１月３１日（土）までにご回答ください。